

## 避難訓練（地震）の講話

5月18日

皆さんいかがでしたか。もっと大きな地震が発生した時には、本震や余震など連続して校舎を突き上げるような揺れが発生します。その時には、今のように冷静に判断して動くことができるとは限りません。経験がないことは予測が不可能なこともあります。

地震のことについて研究されておられる学者の先生方はたくさんおられます。しかし、この年のこの日に大きな地震が発生すると断言できる先生方は、まだおられません。あくまでも発生の可能性しか分からないのが現状です。

「では、皆さんはその災害が発生した時にどのようにしたらよいのでしょうか。聞いてみましょう。」（1年●組の●●さん）

「また、地震が一旦落ち着いたらどのようにしたらよいのでしょうか。」（2年●組の●●さん）

「大きな地震の後に停電したらどうしたら良いのでしょうか。」（3年●組の●●さん）

皆さんそれぞれ同じ考えであった人や考えていなかった。と言う人もいるでしょう。私も実際に地震が発生した時には、どのような行動ができるか予測はできません。あった場合は、このように指示を出そうというシミュレーションはしていますが、想定通りにはいかないものです。

その時に頼りになるのは、仲間ではないですか。一人では不安な事もあります。そんな時にお互い励まし合いながら、災害を乗り越えていくことができると思います。

日本で災害が発生した時に、諸外国からびっくりされたり、尊敬されたりすることは何かと言いますと、我先に物を奪い合ったり、列を乱して自分のことだけしか考えない人が少ない事です。きちんと列を守り、順番を待っています。このことは長年、日本の生活や学校教育の中で培われた成果だと思っています。

約束や規則を守って、みんなの命を大切に守っていくこと。  
何か災害が発生した時に、お互いが協力しながら苦難を乗り越えられるように、これからも考えて欲しいと願っています。